

レインボーフォスターケア(RFC)

～私たちについて～



RFC

RainbowFosterCare

LGBTも里親に！

レインボーフォスターケア(RFC)では、同性カップルなどLGBTの人たちが里親として子どもを養育できる世の中をめざして活動しています。

日本の社会的養護は、施設委託：里親委託が9：1と施設偏重の現状です。国連（2010年：子どもの権利委員会）から勧告を受け、厚生労働省が「里親委託の推進」を掲げて各施策の推進を行っているところです。里親登録数・委託率を上げるという方向性が示されている中、RFCは、LGBTの人たちなど「多様な人材」も積極的に活用し、子どもたちのための里親家庭を増やすことを提言しています。

LGBTとは？

女性同性愛者（レズビアン）、男性同性愛者（ゲイ）、両性愛者（バイセクシュアル）、性別越境者（トランスジェンダー、性同一性障がいの方も含む）の方々をまとめて指す言葉です。セクシュアルマイノリティ、性的マイノリティとも呼ばれることもあります。

LGBTの人はどのくらいいるのですか？

人口の7.6%（2015年電通ダイバーシティ・ラボ調べ）です。

LGBTの人は子育てしていますか？

離婚後、同性パートナーと子育てしている人もいます。里親として子育てを望む人たちもいますが、自治体によっては法律上の夫婦のみに限定しているケースもあり、まだハードルが高い状況です。（性同一性障害の方で性別変更後に婚姻したケースでは、里親登録や養子縁組をして子育てしている人たちもいます。）

LGBTと、里親制度を考える。

レインボーフォスターケア(RFC)

Email rainbowfoster13@gmail.com HP <http://rainbowfostercare.jimdo.com/>

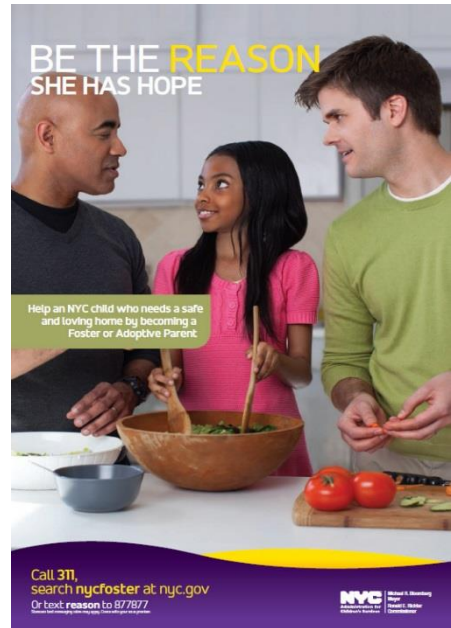
RFC 里親

検索



海外では？

- ✓ アメリカでは、約14,000人の子どもが里子としてレスビアンやゲイのカップルの両親と一緒に生活しています。イギリスでも、養子や里子を育てるLGBTのネットワークがあります。
- ✓ 欧米各国では、同性カップルが子どもたちを受け入れる里親家庭の候補として認識されています。
- ✓ さらに進んで、LGBTへ向けた積極的な里親募集を行っている自治体もあるほどです。（右はNY市のポスター。ゲイカップルが里親として子育てしている。）



日本では？

- ✓ 同性結婚等の制度のないわが国では、子どもたちと関わりたいLGBTや実際に子育てをしている同性カップルの存在がまだ知られていません。しかし、彼ら彼女らの存在がより社会一般に知られるようになれば、LGBTが里親家庭の候補として認識されるようになるかもしれません。
- ✓ LGBTが里親家庭を築き、子どもたちと関わっていけるような未来を考えるため、RFCでは、里親制度に関わる方々にLGBTの現状を知ってもらうとともに、LGBTの人たちと里親制度の知識を深める交流会を開催し、ネットワークを広げていきたいと考えています。



2014年、国際人権擁護団体ヒューマンライツウォッチが「夢がもてないー日本における社会的養護下の子どもたちー」という調査報告書を出した。

その中の「多様な里親確保を」という提言では「共働き家庭でも積極的に里親登録は認められるべきであるし、未婚者やLGBTカップルが里親になることも想定すべきである」とLGBTカップルへの言及がされている。